

各 位

会 社 名 : 株式会社夢真ホールディングス
 (コード : 2362 JASDAQ)
 代 表 者 名 : 代表取締役社長 佐藤 大央
 問 い 合 せ 先 : 執行役員 管理本部長 片野 裕之
 (T E L : 03-3210-1212)

2016年9月期 通期 連結決算概況について

1. ハイライト

- ① 建築技術者派遣事業 売上高 22 四半期連続で2ケタ増収
- ② 建築技術者派遣事業 年間採用計画2,000人を達成
- ③ 連結営業利益 建築技術者派遣にて28%増益+前期に行った事業再編効果で41%増益

2. 経営成績

- ① 連結 (百万円)

	2015年9月期	2016年9月期	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	21,115	23,270	+2,154	+10.2%
営業利益	1,726	2,433	+706	+40.9%
経常利益	1,959	2,463	+503	+25.7%
当期純利益	1,881	1,622	△258	△13.8%

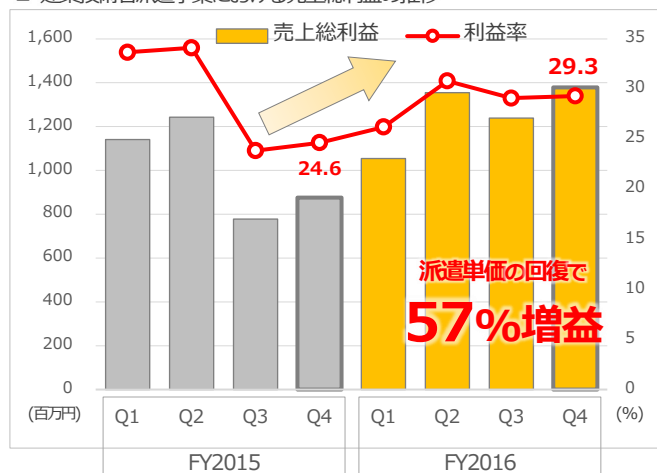
- ② 建築技術者派遣事業 (百万円)

	2015年9月期	2016年9月期	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	13,855	17,400	+3,545	+25.6%
営業利益	1,759	2,212	+479	+27.6%
期末技術者数	2,760人	3,334人	+574人	+20.8%
期中平均技術者数	2,497人	3,027人	+530人	+21.2%

3. サマリー

- ① 売上高 稼働人数の増加および派遣単価の改善により建築技術者派遣事業が26%増収、エンジニア派遣事業も22%の増収となりました。連結売上高では、前期に子育て支援、介護および総合建設事業あわせて2,571百万円を計上していましたが、当期では建築技術者派遣およびエンジニア派遣事業の増収により、その差額分をカバーし、10%の増収となりました。
- ② 営業利益 建築技術者派遣事業にて、前期の下半期に実施しました期間を限定した低単価戦略による影響が一巡し、派遣単価が改善、その結果、下半期の売上総利益率が前年同期比5pt.上昇したことで28%（下半期比較では159%）増益となりました。連結営業利益では、上記理由に加え前期の事業再編による子会社売却により343百万円の減益要因がなくなったことで41%の増益となりました。

■ 建築技術者派遣事業における売上総利益の推移



～2017年9月期について～

建築技術者派遣事業の飛躍的な拡大を成長ドライバーとしていきます。具体的な施策としては、2,000人採用を継続。改善傾向にある定着率をより安定させるため、フォロー及び研修制度の充実を図ります。また、シェアの拡大を重点においた営業活動で価格競争力の向上に努め、売上総利益率30%水準を目指します。採用コストは一定に維持し、その結果営業利益率で2pt.の改善を目指します。